医療法人
社会福祉法人 養和会

No.294

令和6年3月発行

きやらぼく

グループホーム仁風荘一番館

院内研究発表大会

教育委員会

2024年2月25日に令和5年度養和会研究発表大会がハイブリッド開催（会場とオンライン併用）で開催され、総勢約500名の職員が参加しました。

今年度からの新たな取り組みとして、診療報酬改定についてランチョンセミナーが開催されたり、特別報告として能登半島地震の災害支援チームの報告がありました。

口述発表では全体的に工夫を凝らした実践の発表が多く、明日からでも参考にできる取り組みばかりでした。

終末期の取り組みの発表が複数例あり、葛藤しながら質の高い支援を模索していた姿に、多くの職員が共感しながら聴講していました。

仁風荘の岡田看護部長の総評では、普段のケア実践の中から研究テーマをみつけていくことや、取り組みについて参考文献を元に振り返り質を上げていくことなど、話がありました。

今回の学びを今後の業務に活かし、より一層質の高いサービス向上に繋げてまいります。

オープンダイアローグ研修会

認定精神保健福祉士　前澤 由梨

2月10日（土）、オープンダイアローグの第一人者である森川すいめい先生（精神科医）、川島美由紀さん（看護師）をお招きし、オープンダイアローグの研修会を養和病院にて、開催しました。この日参加したのは、鳥取県内の精神科医療機関の医師、看護師、精神保健福祉士、行政および教育機関の職員ら17名と養和会グループ職員7名の24名。最初に2人ペアになり、話をする側、話を聞く側の両方の立場となって対話のウォーミングアップを行いました。その後、輪になり、1980年代半ばにフィンランドで始まったオープンダイアローグについて、誕生までの歴史を3段階に分けて参加者の実演により紹介していきました。オープンダイアローグとは、「開かれた対話」という意味で、当事者と1対1で話をするのではなく、医師や看護師、家族などの3人以上の人が集まって輪になり、対等な立場で話すことです。そしてその対話の最中に、専門家同士がその対話から感じたことを話し合い、それを当事者たちに聞いてもらう時間を設けます。そこで感じる相互作用によって自然と回復へと向かいます。当院の精神科訪問看護では、2020年からオープンダイアローグを開始しています。今回の研修で得た学びが今後の医療・介護・福祉サービスへつながるよう法人内の支援体制を構築してまいります。

認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム仁風荘

グループホーム仁風荘一番館　施設長　角田 俊夫

グループホーム仁風荘は一番館・二番館とあり、一番館はご利用者９名の１ユニット。二番館はご利用者 18 名の２ユニットでの受け入れを行っています。

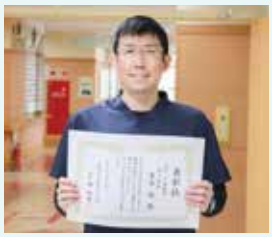
認知症グループホームは要支援２以上の方で医師による認知症の診断を受けた高齢者が対象となります。少人数で家庭的な雰囲気の中で認知症専門の介護スタッフの支援のもと、日々の暮らしの中で、安心して生活できるように日常生活及び心身の機能訓練などを受けながら他者と共同生活を送る施設です。

当施設ではご利用者と「なじみの関係」を作り上げることにより、認知症の軽減を図り、心身の状態を穏やかに保てるよう心がけています。また季節（お盆・お正月・お彼岸など）ごとのイベントを取り入れ、過去に体験してきた思い出や失いかけた能力を引き出し、本人らしい生活が出来るよう支援しています。

地域の方々との結びつきも大切にしており、互いに協力し合える関係作りにも心がけております。
「あんずあぷりこ」の同一敷地内にありますので、ご興味のある方は立ち寄ってみてください。

お問い合わせ
【住所】
〒 683-0841
鳥取県米子市上後藤 8-9-23
【☎】0859-24-9111
【担当】角田

放射線技師 青木進が 鳥取県スポーツ協会 奨励賞を受賞しました



２月 25 日（日）鳥取市の白兎会館にて令和５年度鳥取県スポーツ協会表彰式が開催され、当法人画像検査室 放射線技師の青木 進が「奨励賞」を受賞しました。

※令和５年 10 月８日　全日本マスターズ陸上選手権大会
　M50 クラス（50 歳～ 54 歳）200 m走　３位

抱負：ご利用者や職員から声をかけられることがあり大変励みになっています。
今年の全日本（京都開催）はさらに上位を目指します。

出張！パン作り教室！

上後藤二区自治会　副会長　福谷 武彦

２月 12 日（振休・月）に「出張！パン作り教室！」を上後藤二区公民館で開催していただきました。昨年末に開催の打診を受け、上二子ども会に呼びかけしたところ児童 12 人、保護者７人の応募がありました。

当日は、朝早くから講師の西村さんとスタッフの皆さんで会場準備をしていただき、参加者が揃ったところでスタートしました。エプロンと三角巾を着用した参加者は、入念に手洗いを行い参加者名の貼ってあるテーブルに着きます。テーブルの上にはレシピの用紙と握り拳ほどの丸いパン生地、ピンポン玉ほどのこし餡・チョコ・カスタードクリームの具が準備してあります。少し緊張気味の子供たち、講師の説明を聞きながら麺棒を手にカメさん作りに挑戦です。要領を得た子どもたちは、カニさん、葡萄、アニメのキャラクターなど柔軟な発想で次々と作品を作り上げていきました。そして３時間後、『あんずあぷりこ』で焼いていただいたパンを受け取りました。子どもたちから「焼くとこんなに大きくなるんだ、いい香り、また作りたい」、保護者の方からも「親子で楽しい時間を過ごせました」との声が聞かれ、とても好評でした。

『あんずあぷりこ』の皆様、地域の子どもたちのために楽しいパン作り教室を開催していただき、本当にありがとうございました。

養和会野球部

養和会野球部 監督
中谷 勇介

養和会野球部 主将
福島直也

昨シーズンは、香川県で行われた天皇賜杯全日本軟式野球大会、山口県で行われた西日本軟式野球選手権大会の２大会で全国大会出場することができました。ご声援をいただいた皆様、快く見送って頂いた職員の皆様、心よりお礼申し上げます。皆様のご声援が選手にとって心強いご支援であると感じております。

今シーズンは全国大会へ出場するだけでなく、昨年果たせなかった「全国大会で２勝」という目標が達成出来るように、このオフシーズンで個人の技術、チームの総合力の強化に励んでいきます。全国に養和会の名を広められるよう選手・スタッフ一同精進していきますので今年も養和会野球部へご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。

養和会

養和会理念　養和会はご利用者の幸せ
地域の幸せ　職員の幸せを追求します。

こちらからHPもご覧ください
養和会

医療法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤3丁目5番1号　TEL 0859-29-5351　FAX 0859-29-7179
社会福祉法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤8丁目9番23号　TEL 0859-48-0483　FAX 0859-48-0484

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

※写真・作品などに関しては、ご本人の了解を得て掲載させていただいております。